

平成二十五年六月 文部科学大臣に提出した  
「書写・書道教育に関する要望書」について

## 具 体 的 内 容

### 書写・書道教育推進協議会

平成二十五年六月二十七日に文部科学大臣に提出した「書写・書道教育に関する要望書」につき、要望内容実現に向け、さらに具体的な要望をいたします。

○小学校 国語科教育および国語科書写教育の一層の充実を希望する

小学校においては、国語科書写教育の一層の充実および硬筆の基礎となる毛筆を第一学年から取り上げ、文字の成り立ちや筆順に触れることなど、毛筆が授業で確実に教えられるよう各学校への指導を徹底していただきたい。

①第一学年および第二学年

文字を手書きすることの意義に気付かせ、硬筆による書写の能力の基礎を養うため、硬筆の指導とともに毛筆を第一学年から取り上げていただきたい。

毛筆（水書など軟筆も含む）を体験することにより、硬筆の基礎が養われるよう指導していただきたい。

当協議会は現在、小学校の協力を得て第一、二学年を対象に毛筆などの実験的授業を行っており、実施案をまとめたい。

【時間の明示】

国語科の第一、二学年の時間数枠内に、「毛筆（水書など軟筆も含む）を使用する書写」の時間数を明示していただきたい。

②第三学年～第六学年

現行の学習指導要領に示された内容ならびに時間数を、確実に実施していただきたい。毛筆を使用する書写の時間数は、年間三十単位時間程度となっている。

③全学年共通

【評価欄の設置】

国語科の評価欄に「書写」の評価を加え、授業を確実に実施していただきたい。

【指導者の研修】

国語科の「書写」指導を中心とした指導者研修を実施し、「書写」指導の確実な実施につなげていただきたい。

当協議会は、講師派遣および指導教材作成につき協力する考えがある。

## ○中学校

国語科教育および国語科書写教育の確実な実施、一層の充実を希望する

中学校においては、国語科書写教育の一層の充実および学習指導要領に示された内容ならびに時間数を確実に実施していただくとともに、とりわけ毛筆による書写の学習等を通じて、我が国の言語文化の豊かさに触れるような実践をするよう各学校へ強く指導していただきたい。

現行の学習指導要領で、中学校国語科書写は小学校と同様「伝統的な言語文化と国語の特質」という事項に位置づけられ、従前より「毛筆は硬筆による書写の能力の基礎を養うこと」とされている。小学校の現行学習指導要領において、特に「第五学年及び第六学年」の中に、「穂先の動き」や「点画のつながり」など毛筆ならではの文言が加えられた。小学校国語科書写での学習が中学校国語科書写へとスムーズにつながることを考えると、毛筆を使用して書写の学習をすることがより重要であると考えられる。さらに、小学校での文字を正しく整えて書く整齊な技能を中学校の最初の段階では確かめ、それらの定着を図りながら高等学校芸術科書道への円滑な接続を考慮して、中学校の後半は文字の多様な美へ発展できる指導が行えるよう、時間数の確保と内容の一層の充実を図っていただきたい。

### 【評価欄の設置】

国語科の評価欄に「書写」の評価を加え、授業を確実に実施していただきたい。

### 【文字文化に関する認識を高める学習】

中学校の国語科書写から高等学校の芸術科書道への円滑な接続を図っていただきたい。  
・身の回りの多様な文字に関心を持つことで、文字を手書きすることの意義に気付かせる授業を実施するよう指導していただきたい。  
・文字の芸術性に関心を向ける素地を養うなど、文字文化に関する認識を深める授業を実施するよう指導していただきたい。

### 【指導者の研修】

国語科の「書写」指導を中心とした指導者研修を実施し、「書写」指導の確実な実施につなげていただきたい。

当協議会は、講師派遣および指導教材作成につき協力する考えがある。

## ○高等学校

高等学校においては、書道教育の一層の充実および我が国の伝統文化の尊重という視点に立って、芸術科書道の科目の増単位を要望するとともに、生涯学習社会における書道教育の一層の充実という観点から各都道府県教育委員会に書道教員の採用拡充を求めている。

伝統文化の尊重からも、生涯にわたって書を愛好する心情を育てる目標達成のためにも、現在の単位数では指導不十分である。芸術科の増単位を要望する。

平成二十七年二月一日

書写・書道教育推進協議会



会長 荒船 清彦

副会長 津金 孝邦

副会長 樽本 英信

構成団体

公益社団法人全日本書道連盟

公益財団法人全国書美術振興会

全日本書写書道教育研究会

全日本高等学校書道教育研究会

全国大学書写書道教育学会

全国大学書道学会

賛同団体

一般財団法人毎日書道会

読売書法会

産経国際書会

公益社団法人日本書芸院

全日本書文化振興連盟

全国書道高等学校協議会

文部科学省 初等中等教育局

局長 小松 親次郎 殿